

7-8

褥瘡の回復への取り組み

適切なケアで過ごしやすい生活を

カンファレンス

連携

特別養護老人ホーム三ノ輪

ケアワーカー 久我長広、壁岸麻依美、佐々木 拓也	看護師 仁木 薫
所在地 台東区三ノ輪 1-27-11	
TEL : 03-5603-2231	E-mail : t-minowa@tctv.ne.jp
FAX : 03-5603-2232	URL : http://minowa-welfare.web.infoseek.co.jp

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	台東区社会福祉事業団が母体である三ノ輪ホームは平成6年開設、4名の短期入所者を含め67名の方が入居されています。駅から徒歩一分の好立地にある三ノ輪福祉センター内にあります。2階にはレストランがあり入居者の方も常連です。
----------------------------	---

<p><取り組んだ課題></p> <p>褥瘡完治に向けての具体的な取り組みの実施</p>	<p><活動の成果と評価></p> <p>○褥瘡が治った他に、利用者に今までなかった発語や自力動作が見られるようになった。</p> <p>○褥瘡が見つかった段階で速やかにカンファレンスを行いケアプランの見直しをすること、また、役割を明確にすることで適切なケアが提供でき、褥瘡が良くなった。</p>
<p><具体的な取り組み></p> <p>○褥瘡に特化したカンファレンスを定期的に行う。</p> <p>○カンファレンスでケアプランを見直す。そして、ケアワーカー、看護師・栄養士・相談員の役割分担を明確にしてケアを実施する。</p> <p>ケアワーカー：体位変換、姿勢保持、栄養補助食品の摂取、夜間の褥瘡処置等。(日常のケア)</p> <p>看護師：受診付き添い、家族への報告、褥瘡処置、体重測定等。(医療処置)</p> <p>栄養士：栄養補助食品の提供、食事形態の変更や量の調節等。(栄養管理)</p> <p>相談員：カンファレンスの日程調整。褥瘡写真撮影等。(全体の調整)</p> <p>歯科：職員への口腔ケアの指導、義歯作成の評価</p> <p>○上記の取り組みで褥瘡が良くなった2事例を紹介する。</p>	<p><今後の課題></p> <p>○褥瘡をつくらない予防的ケアの徹底</p> <p>○職員の褥瘡の知識向上</p> <p><参考資料など></p>

【メモ欄】